

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

## TOPICS

# 建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます

## 厚生労働省・国土交通省の令和7年度予算案の概要

厚生労働省及び国土交通省は、建設業の人材確保・育成に多角的に取り組むため、令和7年度予算案の概要を取りまとめましたので、公表します。(別添参照)

建設業の技能者のうち、60歳以上の割合が約4分の1を占める一方、29歳以下は全体の約12%となっています。このような中、建設業が引き続き「地域の守り手」として役割を果たしていくためには、将来の建設業を支える担い手の確保が急務となっています。特に若者や女性の建設業への入職や定着の促進などに重点を置きつつ、担い手の処遇改善、働き方改革、生産性向上を一体として進めていくことが重要です。

厚生労働省と国土交通省は、引き続き、連携して関係施策を実施し、建設業の人材の確保・育成に一層取り組んでまいります。

「建設業の人材確保・育成に向けて(令和7年度予算案の概要)」のポイント

○3つの重点事項で厚生労働省と国土交通省の予算を取りまとめ(下線は厚生労働省施策)。

- ①「人材確保」建設業への入職や定着を促すため、建設業の魅力の向上やきめ細かな取組を実施
  - 建設事業主等に対する助成金による支援 69億円
  - ハローワークにおける人材不足分野のマッチング支援 50億円
  - 働き方改革等による建設業の魅力向上 1.5億円 等
- ②「人材育成」若年技能者等を育成するための環境整備
  - 中小建設事業主等への支援 4.9億円
  - 建設分野におけるハロートレーニング(職業訓練)の実施 1.3億円
  - 働き方改革等による建設業の魅力向上(再掲) 1.5億円 等
- ③「魅力ある職場づくり」技能者の処遇を改善し、安心して働けるための環境整備
  - 働き方改革推進支援助成金による支援 92億円
  - 働き方改革推進支援センターによる支援 30億円
  - 働き方改革等による建設業の魅力向上(再掲) 1.5億円 等



(厚生労働省サイト 職業安定局 建設・港湾対策室より)

## MEMO

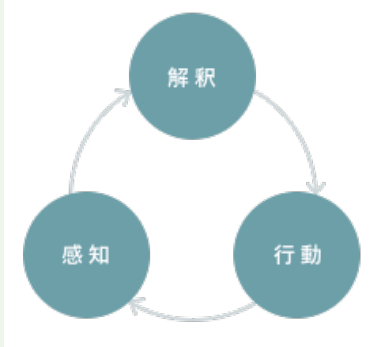
# ビジネスひとロメモ

## センスメイキング理論

人々が不確実な状況や曖昧な体験に意味を見出そうとするプロセスを説明する理論。組織論者のカール・ワイクが提唱し、組織行動論や知識マネジメントの分野で応用されている。

個人や組織が「何が起きているのか」を理解・解釈し、行動の指針を得ようとする認知プロセスに着目するもので、このプロセスは、

情報収集(感知)、解釈、意味付け(行動)の循環的な流れを特徴とする。人は経験・知識・他者との相互作用を通じて状況を解釈し、行動の指針となる「納得のいく物語」を構築する。



## INFO

# 事務局より

## 新入社員研修のご案内

昨年に引き続き、新入社員研修を開催します。「多文化共生時代の新入社員研修」-多様化する価値観の中でスマートに働くコミュニケーション-(仮)と題し、当組合の教育センターで実施します。社会の状況変化に合わせ、外国人就労支援を行う当組合ならではの要素を盛り込み、参加者同士の対話を大切にしたいワークショップ型での実施を予定しております。

- 日時  
2025年4月4日(金)10:00~16:00 予定
- 場所  
JCPS大供教育センター  
(岡山市北区大供1丁目3番13号)

申し込み方法等の詳細は改めてご案内いたします。